

一宮町における流域対策の取組状況

1. 内水対策について

(1) 一宮町の地域性

- ・一宮町は、一宮川流域に降った雨水が全て集まる最下流に位置している。
- ・一宮川の水位に対して宅地の地盤が低いため、内水の自然排水が困難である。

(2) 一宮町の現状

- ・町内11箇所にある排水機場から内水を強制排水している。
- ・各排水機場の維持管理のため、多くの予算と職員を必要としている。

(3) 一宮町が行っている内水対策

- ・11排水機場のうち、公共下水道（雨水）により整備した、中心市街地を浸水被害から守る重要な「一宮町中央ポンプ場」は整備から30年以上が経過し、老朽化が著しいことから設備の一部について、令和2年度～3年度の2ヶ年で先行更新を実施。
- ・一宮町中央ポンプ場改修計画を策定し、令和4年度～8年度の5ヶ年計画で大規模改修に着手し、ポンプ場の機能を維持し、内水浸水被害を軽減するための対策を実施中。

2. 水害リスク情報周知について

- ・一宮川洪水浸水想定区域図を基に、洪水ハザードマップを作成。
- ・内水が排除できない場合の浸水深さを示す、内水浸水想定区域図の作成に着手。